

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	心理学				担当教員名	谷口 幸一			
実務経験等	<p>・臨床心理士(No.02304)：1990年～現在(資格更新回数6回資格有効期限：2025年度末まで)・国立精神衛生研究所の老人精神衛生部の研究生並びに非常勤研究員として約10年間、老人、老年者の地域性菌衛生活動の実践と研究に従事。・東京都目黒区立の教育研究所にて6年間、幼児、児童期の発達障害児の認知機能の査定並びに不登校児の遊戯療法の実施や親のカウンセリングを実施。・職歴としては、1979～2018年の間、大学教員として、心理学分野の科目（発達心理学、体育心理学、臨床心理学、老人心理学、福祉心理学）の講義を担当。</p>										
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	<p>様々な患者に対応していくために必要な心理学の基礎的な考え方を学び、治療技術だけではなく心理的なケアができるようにカウンセリング技術のコツをつかむ。</p>										
使用教材	「イラストレート心理学入門」誠信書房						評価方法		筆記		
授業内容											
1	心理学レディネステスト					9	知覚と認知				
2	性格と臨床心理					10	感覚の老化、高齢者とのコミュニケーション				
3	性格検査と精神分析法					11	認知症の非薬物的治療				
4	性格と欲求、動機付け					12	老年発達				
5	高齢者の心理					13	発達と成長				
6	学習と記憶					14	自己の心理				
7	認知症と記憶					15	対人の心理 まとめ				
8	認知症の心理学的理解										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	公衆衛生学			担当教員名	松田 信晴				
実務経験等	鍼灸師として、訪問治療、本学附属臨床施設での治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	「衛生学・公衆衛生学」は衛生学という基礎の上に成り立っている公衆衛生学という社会医学の両方を複合した教科である。個人衛生、環境衛生、公害、母子保健、学校保健、地域保健、産業保健、食品衛生、精神衛生など広範囲にわたり、医療従事者の基本知識と保健活動の実力を養うことを目的とする。										
使用教材	①「衛生学・公衆衛生学」②「図説国民衛生の動向」医歯薬出版 ①B500 ②1524						評価方法	筆記			
授業内容											
1	オリエンテーション					9	感染症とその対策				
2	産業保健とは					10	感染症とその対策				
3	業務上の疾病とその対策					11	消毒法の定義と種類				
4	精神保健とは					12	消毒の実際				
5	精神保健の現状					13	疫学とは				
6	母子保健					14	保健統計（人口統計・疾病統計）				
7	成人保健					15	まとめ				
8	学校保健										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	リハビリテーション医学	担当教員名	北原 奈那						
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合病院の鍼灸部門にて研修生・レディースクリニックにて勤務</li> <li>・鍼灸院リンパ浮腫治療室を開業・都内の腫瘍内科にて非常勤鍼灸師</li> <li>・鍼灸専門学校の専任教員として勤務・非常勤講師</li> <li>・大学病院のリハビリテーション部の研修を活かしてリハビリに必要な知識を深める授業を行う。</li> <li>・様々な病院の研修、勤務経験を活かし医療連携に必要な知識を理解する授業を行う。</li> </ul>										
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要											
到達目標	リハビリテーションの概念や各疾患のリハビリテーションの理解を基盤にして、鍼灸施術や機能回復に応用できる知識を修得させる。また、地域リハビリテーションの一役を担うにあたり不足のない心構え、及び知識の習得を目指す。										
使用教材	「リハビリテーション医学 第4版（東洋療法学校協会教科書）」 医歯薬出版						評価方法		筆記		
授業内容											
1	リハビリテーションの理念					9	脊髄損傷				
2	障害の評価①					10	脊髄損傷のリハビリテーション				
3	障害の評価②					11	脳性麻痺のリハビリテーション				
4	運動療法					12	切断のリハビリテーション				
5	物理療法					13	骨関節疾患のリハビリテーション				
6	作業療法・装具療法など					14	呼吸器疾患のリハビリテーション				
7	脳血管障害					15	まとめ				
8	脳血管障害のリハビリテーション										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	病理学概論-2			担当教員名	小園 知				
実務経験等	大学教員として38年勤務。 病理学教員として大学に勤務していた経験から、病変の基礎的知識を習得する内容の授業を行う。										
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義内容のプリントを配布。講義はすべてパワーポイントを用いて行う。										
到達目標	身体の一般的な病的変化の定義、分類についての基本的知識を得、その病的変化の様相、機序を理解することで、臨床医学を科学的に理解できる能力を身に付ける。医学用語の概念を理解しそれを適切に使えることを目標とする。 病理学基礎、病因、循環障害、退行性病変、進行性病変、炎症、免疫異常とアレルギー、腫瘍の総論について学ぶ。										
使用教材	「病理学概論」医歯薬出版 3100円＋税						評価方法		筆記		
授業内容											
1	退行性病変：細胞損傷と物質沈着					9	免疫と免疫異常				
2	萎縮、蛋白質代謝障害と疾患					10	腫瘍：定義と分類				
3	資質、糖質代謝障害と疾患					11	良性と悪性腫瘍の相違				
4	資質、糖質代謝障害と疾患					12	腫瘍の発生病理				
5	色素代謝障害、結石					13	病因論				
6	細胞死と死、加齢と老化					14	先天異常				
7	炎症：原因と経過					15	総括				
8	炎症の各型：肉芽腫性炎										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床医学各論Ⅰ				担当教員名	塚本 千絵子			
実務経験等											
年次	3学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	講義はプロジェクターを使用し、配布したレジュメに記入するスタイルで行う。 小単元終了ごとに国家試験の過去問題を解き、習熟度を測る。										
到達目標	第13章『その他の領域』に含まれる各科の代表的な疾患について学習し、鑑別診断に応用する能力の礎を養う。										
使用教材	「臨床医学各論」医歯薬出版 5500円						評価方法	筆記			
授業内容											
1	オリエンテーション 小児科疾患1					9	眼科疾患				
2	小児科疾患2					10	耳鼻科疾患1				
3	一般外科					11	耳鼻科疾患2				
4	麻酔科					12	精神科疾患1				
5	婦人科総論					13	精神科疾患2				
6	婦人科疾患1					14	心療内科				
7	婦人科疾患2					15	加齢に伴う病態				
8	皮膚科疾患										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床医学各論Ⅲ			担当教員名	北原 奈那				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都内の腫瘍内科にて非常勤鍼灸師</li> <li>・鍼灸師として臨床に当たった経験から、知っておくべき神経疾患の知識を授業する。</li> <li>・臨床経験より必要な鍼灸の歴史、意義、施術に当たっての知識を講義、実技を行う。</li> </ul>										
年次	3学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要											
到達目標	第11章『神経疾患』に含まれる各科の代表的な疾患について学習し、鑑別診断に応用する能力の礎を養う。										
使用教材	「臨床医学各論」医歯薬出版 5500円						評価方法	筆記			
授業内容											
1	神経の症状				9	変性疾患					
2	脳血管障害				10	認知症					
3	脳梗塞				11	筋疾患					
4	脳出血				12	運動ニューロン疾患					
5	感染性疾患				13	末梢神経疾患					
6	脳腫瘍				14	末梢神経疾患					
7	脊髄腫瘍				15	まとめ					
8	変性疾患										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	薬理学・漢薬学			担当教員名	稲津 正人、伊藤 直樹				
実務経験等	<p>【薬理学】大学医学部教授として薬理学の教育に従事し、基礎医学の教育研究の経験をもとに、当該科目の教育を行う</p> <p>【漢薬学】東洋医学総合研究所にて薬学研究者として17年勤務（薬剤師、薬学博士） 東洋医学専門のWHO認定医療機関において、東洋医学や漢方薬の研究に長年従事していた経験から漢方薬の試飲や生薬の試食など五感を活かしながら最低限おさえておきたい漢方薬の知識を深められる授業を行う。</p>										
年次	3学年	開講期		種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	<p>【薬理学】講師：稲津正人 毎回ハンガアウトを配布し、板書及びパワーポイントを用いた図説による講義を行う。</p> <p>【漢薬学】講師：伊藤直樹 パワーポイントを使い、漢方薬の試飲も行う。</p>										
到達目標	<p>【薬理学】 薬理学の理解を深め、患者が所持している薬がどのようなものかを理解出来るようにする。また、生理学の内分泌系部分の理解をより深めることで、基礎学力を向上させる。</p> <p>【漢薬学】 漢方薬の正しい考え方、扱い方が分かるように漢方の基礎が理解できるようにする。各証に応じた漢薬の意味や効能を理解し、患者が所持している漢方薬を把握できるように学習する。</p>										
使用教材	【薬理学】「今日の治療薬2012」南江堂 4830円（税込）						評価方法		筆記		
授業内容											
1	自律神経作用薬				9	漢方医学の歴史と基本概念					
2	循環器系作用薬				10	漢方理論による診断法と治療法					
3	消化器系作用薬				11	漢方薬・生薬の分類					
4	呼吸器系作用薬				12	風邪の漢方薬治療					
5	精神神経系作用薬				13	消化器疾患・肥満の漢方薬治療					
6	感染症治療薬				14	精神疾患・冷え性の漢方薬治療					
7	内分泌系治療薬				15	漢方薬の副作用、まとめ					
8	総括										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	関係法規				担当教員名	棚田 徹也			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護老人保健施設にて、リハビリ主任として6年間勤務。（上記老健施設併設診療所リハビリ課主任を兼任）リハビリだけでなく、介護計画、利用者及び家族からの相談にも対応。</li> <li>・はり、きゅう、マッサージ治療院の開設者院長として6年間経営及び施術業務（臨床）に従事。</li> <li>・介護老人保健施設・診療所勤務及びあはき施術所経営の経験から、保険・医療・福祉の諸制度とその現状について、あはきの視点も加味して、総合的な視点から授業を行う。</li> <li>・異なった環境で、多様なタイプの環境で臨床を行った経験から、様々な局面に即応できる灸術の基礎を学ぶことのできる授業を行う。</li> </ul>										
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	16時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	講義形式を基本とし。随時討論形式で行う。										
到達目標	<p>あはきを業とする上で必要な法令を学ぶ。また、スムーズに施術所を開業するために必要な知識を身につけ、法令に則って運用できるようになる。</p> <p>将来必要に応じて法令の内容を調べ、理解するための基礎力を身に付ける。</p> <p>地域の医療者として市民に対し助言・援助ができるようになるため、諸制度の基本を学ぶ。</p>										
使用教材	「関係法規」医歯薬出版						評価方法	筆記試験による			
授業内容											
1	法とは何か。法制度と法・法令・法律、あはき施術の法的位置付け										
2	医療資格とあはき師免許										
3	あはき師の業務										
4	施術所と広告制限、秘密保持義務										
5	医療法・医師法と薬事法規										
6	社会保険、公的医療保険										
7	制度史と届出医業類似行為業者、医の倫理										
8	まとめと問題演習										
特記事項											



学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	社会福祉概論				担当教員名	棚田 徹也			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護老人保健施設にて、リハビリ主任として6年間勤務。（上記老健施設併設診療所リハビリ課主任を兼任）リハビリだけでなく、介護計画、利用者及び家族からの相談にも対応。</li> <li>・はり、きゅう、マッサージ治療院の開設者院長として6年間経営及び施術業務（臨床）に従事。</li> <li>・介護老人保健施設・診療所勤務及びあはき施術所経営の経験から、保険・医療・福祉の諸制度とその現状について、あはきの視点も加味して、総合的な視点から授業を行う。</li> <li>・異なった環境で、多様なタイプの環境で臨床を行った経験から、様々な局面に即応できる灸術の基礎を学ぶことのできる授業を行う。</li> </ul>										
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	16時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	<p>人権保障の観点を踏まえつつ、社会福祉の歴史や諸制度の基本を広く理解する。保健・福祉・医療を総合的に俯瞰しながら、社会福祉の将来のあり方を考える。</p>										
到達目標	<p>地域の福祉に寄り添い・支える医療者として必要な社会保障の基礎知識を身に付ける。      今後の社会福祉のあり方を考えられるようになる。      地域の資源を知り、市民の一員として地域福祉に参加・貢献できるようになる。</p>										
使用教材	「関係法規」医歯薬出版						評価方法	筆記試験による			
授業内容											
1	社会福祉とは何か、社会保障制度の概要										
2	日本の社会福祉の歴史(1)と福祉三法										
3	日本の社会福祉の歴史(2)と福祉六法、社会福祉制度の現状										
4	公的扶助、子ども福祉										
5	障害者福祉										
6	高齢者福祉と介護保険、地域包括ケア										
7	地域医療と地域福祉、社会福祉専門職										
8	まとめと社会福祉の課題、ノーマライゼーションからインクルージョンへ										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	あん摩マッサージ指圧理論	担当教員名	棚田 徹也						
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護老人保健施設にて、リハビリ主任として6年間勤務。（上記老健施設併設診療所リハビリ課主任を兼任）リハビリだけでなく、介護計画、利用者及び家族からの相談にも対応。</li> <li>・はり、きゅう、マッサージ治療院の開設者院長として6年間経営及び施術業務（臨床）に従事。</li> <li>"・介護老人保健施設・診療所勤務及びあはき施術所経営の経験から、保険・医療・福祉の諸制度とその現状について、あはきの視点も加味して、総合的な視点から授業を行う。</li> <li>・異なった環境で、多様なタイプの環境で臨床を行った経験から、様々な局面に即応できる灸術の基礎を学ぶことのできる授業を行う。"</li> </ul>										
年次	3学年	開講期		種別	講義	時間数	16時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	あん摩マッサージ指圧に関わる理論と、関連する手技療法全般について、あん摩マッサージ指圧師国家試験の出題とも関連させながら学ぶ。										
到達目標	あん摩マッサージ指圧各手技の特徴や相違点、またその効能と歴史、及び関連する理論について学び理解する。										
使用教材	「あん摩マッサージ指圧理論」医道の日本社						評価方法		筆記		
授業内容											
1	あん摩の基本手技と古法あん摩										
2	マッサージの基本手技と応用										
3	指圧の基本手技とその他の手技療法										
4	適応と禁忌、リスク管理										
5	あん摩マッサージ指圧の治療作用										
6	刺激の受容と伝導										
7	反射										
8	関連学説とまとめ										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	はりきゅう理論-2			担当教員名	庄田 元				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る 鍼灸マッサージ教員 2004年4月より現在に至る										
年次	3学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	鍼灸療法の治効理論を現代医学の視点から学び、それに基づいて治療法を組み立てられる基礎力を習得させる。 また、「はりきゅう理論」は国家試験においてもはり理論10問、きゅう理論10問と出題数が比較的多く、出題傾向も例年過去問で対策すれば高確率で点数を取れる科目である。その4択問題を解けるような知識を身に付ける。										
使用教材	はりきゅう理論 第3版						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	第8章 熱傷（炎症）				9	第9章 鍼灸治効機序					
2	第8章 熱傷（炎症）				10	第9章 鍼灸治効機序					
3	第8章 体表の反応				11	第10章 鍼灸治効機序と臨床の接点					
4	第9章 鍼鎮痛				12	第10章 鍼灸治効機序と臨床の接点					
5	第9章 鍼鎮痛				13	はりきゅう理論 第1～4章					
6	第9章 鍼鎮痛				14	はりきゅう理論 第5～6章					
7	第9章 鍼灸治効機序				15	はりきゅう理論 第7章					
8	第9章 鍼灸治効機序										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	ポリクリニック				担当教員名	星 いつ子、小倉 千都世			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	3学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	60時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	演習										
到達目標	代表的な主訴をモデルケースとして、あはきの適応を判断し、施術を組み立てる作業をグループ毎に行う。グループで検討した内容は、その都度発表し、全体で評価・検討を行いながら理解を深める。その後、患者・施術者役を決めてロールプレイングを行う。臨床実習に出るに当たり、主訴から必要な所見・検査を検討し、その結果から、あはきの適応を判断し、施術を組み立て、実際に行う一連の流れを模擬で行い、臨床能力を身につける。										
使用教材							評価方法	レポート			
授業内容											
1	オリエンテーション					16	東洋医学的な症例検討について				
2	現代医学的な症例検討について					17	膝の診方 症例検討				
3	肩の診方 症例検討					18	膝の診方 症例検討				
4	肩の診方 症例検討					19	ロールプレイ（膝の痛み）				
5	ロールプレイ（肩の痛み）					20	ロールプレイ（膝の痛み）				
6	ロールプレイ（肩の痛み）					21	頭痛 症例検討				
7	頸の診方 症例検討					22	頭痛 症例検討				
8	頸の診方 症例検討					23	ロールプレイ（頭痛）				
9	ロールプレイ（頸の痛み）					24	ロールプレイ（頭痛）				
10	ロールプレイ（頸の痛み）					25	月経痛 症例検討				
11	腰下肢の診方 症例検討					26	月経痛 症例検討				
12	腰下肢の診方 症例検討					27	ロールプレイ（月経痛）				
13	ロールプレイ（腰下肢の痛み）					28	ロールプレイ（月経痛）				
14	ロールプレイ（腰下肢の痛み）					29	まとめ、総括				
15	まとめ					30	まとめ、総括				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	社会あはき学Ⅲ			担当教員名	専任、庄田 元				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	16時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要											
到達目標	あはき師の社会的ニーズと役割について、あはき業界の動向や様々な臨床現場の実際を知ることによって理解させる。また、卒業後の展望や施術所の経営展開についても具体的に考えていく能力と態度を育てる。										
使用教材							評価方法	レポート			
授業内容											
1	ガイダンス										
2	カルテの書き方①										
3	カルテの書き方②										
4	カルテの書き方③										
5	卒後の展望について①										
6	卒後の展望について②										
7	就職ガイダンスについて①										
8	就職ガイダンスについて②										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	応用はりきゅう実技				担当教員名	小林 智子			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師免許、はり師免許、きゅう師免許を有し、30数年の臨床経験を生かし、大学、専門学校で実践的な臨床教育に携わっている。主に筑波大学理療科教員養成施設、同大学トレーニングクリニック、実業団チームでは、一般患者やスポーツ選手に対する鍼きゅう治療やトレーニング指導。また、病院、診療所においては、病棟、外来、訪問で、ターミナル、難病患者のQOL改善の鍼きゅう、マッサージ治療の経験を持つ										
年次	3学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	60時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	実技										
到達目標	運動器疾患に対する理解を深め、鍼通電療法を中心に、各疾患に対する臨床能力をつける。										
使用教材							評価方法	筆記 実技 レポート			
授業内容											
1	オリエンテーション					16	一週間の経過観察 指導				
2	膝痛の診察 アライメント ROM MMTなど					17	腰痛の診察				
3	内側広筋パルス					18	腰方形筋パルス				
4	大腿二頭筋パルス					19	脊柱起立筋パルス				
5	大腿二頭筋パルス					20	腸腰筋、椎間関節、仙腸関節パルスなど				
6	大腿～膝の診察 特に内側 鷲足 筋腱の診かた					21	応用				
7	縫工筋パルス					22	肩関節の診察				
8	薄筋パルス					23	棘上筋パルスなど				
9	半腱様筋パルス					24	棘下筋パルス				
10	股関節～大腿～膝の診察 特に外側 腸脛靭帯の診かた					25	大円筋パルスなど				
11	大殿筋膜張筋パルス					26	応用				
12	大殿筋パルス					27	頸部～肩の診察				
13	大殿筋パルス					28	肩甲挙筋など				
14	股関節の診察と治療					29	まとめ				
15	中殿筋パルス					30	まとめ				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	応用あま指実技				担当教員名	星 いつ子、松田 信晴、庄田 元、森岡 裕貴			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	3学年	開講期	前期、後期	種別	実技	時間数	60時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	実技										
到達目標	各疾患の病態・症状を想起し、適切な身体診察・あま指を行う能力と態度を育てる。										
使用教材							評価方法	実技			
授業内容											
1	指圧実技頭頸部					16	スポーツマッサージ実技（森岡先生）上肢				
2	指圧実技肩背部					17	スポーツマッサージ実技（森岡先生）全身				
3	指圧実技背腰部					18	スポーツマッサージ実技（森岡先生）まとめ①				
4	指圧実技腰殿部					19	スポーツマッサージ実技（森岡先生）まとめ②				
5	指圧実技上肢					20	スポーツマッサージ実技（森岡先生）まとめ③				
6	指圧実技下肢					21	オイルマッサージ実技伏臥位全身				
7	指圧実技全身					22	オイルマッサージ実技仰臥位全身				
8	指圧実技全身					23	オイルマッサージ実技全身（主訴に合わせて）				
9	スポーツマッサージ実技（森岡先生）肩背部					24	あん摩実技腰痛				
10	スポーツマッサージ実技（森岡先生）肩背部					25	あん摩実技肩痛				
11	スポーツマッサージ実技（森岡先生）背腰部					26	あん摩実技膝痛				
12	スポーツマッサージ実技（森岡先生）背腰部					27	あん摩マッサージ指圧実技評価オリエンテーション				
13	スポーツマッサージ実技（森岡先生）腰殿部					28	あん摩マッサージ指圧実技評価練習①				
14	スポーツマッサージ実技（森岡先生）腰殿部					29	あん摩マッサージ指圧実技評価練習②				
15	スポーツマッサージ実技（森岡先生）下肢					30	あん摩マッサージ指圧実技評価練習③				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床実習-2			担当教員名	専任				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	3学年	開講期		種別	外部実習	時間数	90時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	臨床実習										
到達目標	校内外の施術所、病院、介護施設、スポーツ施設における臨床の現場を見学したり、できる範囲で患者への接遇や施術者の介助を行ったりすることで、臨床現場を体験する。 実際に見学したり、体験したりすることを通して、臨床にあたっての自らの課題を見つけ、克服する努力をし、卒業後の自らの進路を考え、施術を行う者としての責任の在り方を考える。										
使用教材							評価方法				
授業内容											
1~25	附属臨床施設実習（あま指実習）										
26~32	外部治療院実習										
33~46	附属臨床施設実習（はき施術）										
特記事項											



学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床実習-3			担当教員名	専任、蜷川 親秀				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	3学年	開講期		種別	外部実習	時間数	45時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	臨床実習										
到達目標	校内外の施術所、病院、介護施設、スポーツ施設における臨床の現場を見学したり、できる範囲で患者への接遇や施術者の介助を行ったりすることで、臨床現場を体験する。 実際に見学したり、体験したりすることを通して、臨床にあたっての自らの課題を見つけ、克服する努力をし、卒業後の自らの進路を考え、施術を行う者としての責任の在り方を考える。										
使用教材							評価方法	レポート			
授業内容											
1~10	デイサービス実習（校外施設）										
11~23	スポーツ施設実習（校外施設）										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	人体の構造と機能Ⅰ	担当教員名	中澤 麻耶						
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師として治療院勤務をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	3学年	開講期		種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	解剖学などに関する知識をより高度に学習する。また、これまでに学んだ知識の再確認、再習得、統合を行い、臨床に向け、深化した知識を習得させる。										
使用教材	「解剖学」医歯薬出版 5500円			評価方法	筆記						
授業内容											
1	人体の構成	9	中枢神経系								
2	骨格、関節	10	伝導路								
3	筋（頭頸部・上肢）	11	末梢神経系（脳神経）								
4	筋（体幹・下肢）	12	末梢神経系（脊髄神経・自律神経）								
5	循環器系	13	感覚器系								
6	消化器系	14	神経系・感覚器系まとめ								
7	呼吸器系、泌尿器系	15	運動器系・内臓器系まとめ								
8	生殖器系、内分泌系										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	人体の構造と機能Ⅱ			担当教員名	庄田 元				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る										
年次	3学年	開講期		種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	生理学などに関する知識をより高度に学習する。また、これまでに学んだ知識の再確認、再習得、統合を行い、臨床に向け、深化した知識を習得させる。										
使用教材							評価方法	4 択試験			
授業内容											
1	生理学の基礎				9	神経					
2	循環				10	神経					
3	呼吸				11	筋肉					
4	消化と吸収				12	運動					
5	代謝と体温				13	感覚					
6	排泄				14	特殊感覚					
7	内分泌				15	生体防御機構					
8	生殖										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	症候学各論			担当教員名	星 いつ子				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として整形外科クリニック・内科クリニック・漢方薬局・往診治療の経験をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	3学年	開講期		種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	臨床医学各論などに関する知識をより高度に学習する。また、これまでに学んだ知識の再確認、再習得、統合を行い、臨床に向け、深化した知識を習得させる。										
使用教材	「臨床医学各論」医歯薬出版 5500円						評価方法	筆記			
授業内容											
1	感染症					9	整形外科 2				
2	消化管					10	循環器				
3	肝胆膵					11	血液・造血器				
4	呼吸器					12	神経疾患 1				
5	腎・尿器					13	神経疾患 2				
6	内分泌					14	リウマチ・膠原病				
7	代謝・栄養					15	その他（耳鼻科・皮膚科・眼科等）				
8	整形外科 1										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	診断病態生理			担当教員名	星 いつ子、中澤 麻耶				
実務経験等											
年次	3学年	開講期		種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		講義									
到達目標		臨床医学総論・病理学などに関する知識をより高度に学習する。また、これまでに学んだ知識の再確認、再習得、統合を行い、臨床に向け、深化した知識を習得させる。									
使用教材		「病理学概論、臨床医学総論」医歯薬出版 5500円					評価方法		筆記		
授業内容											
1	医療面接				9	病因					
2	触診、打診				10	循環障害					
3	聴診				11	退行性病変					
4	バイタルサイン				12	進行性病変					
5	神経系の診察				13	免疫・炎症					
6	運動器系の診察				14	腫瘍					
7	まとめ				15	まとめ					
8	病理学概論										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	疾病と予防			担当教員名	松田 信晴、木村 桃子				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	3学年	開講期		種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	衛生学、リハビリテーション医学などに関する知識をより高度に学習する。また、これまでに学んだ知識の再確認、再習得、統合を行い、臨床に向け、深化した知識を習得させる。										
使用教材	「リハビリテーション医学、衛生学・公衆衛生学」医歯薬出版 3400円＋税						評価方法	筆記			
授業内容											
1	リハビリテーション総論					9	公衆衛生学の意義、健康				
2	障害の評価					10	ライフスタイルと健康				
3	理学療法、作業療法、義肢装具					11	環境と健康				
4	脳血管障害					12	産業保健、精神保健				
5	脊髄損傷					13	母子保健、高齢者保健				
6	その他の疾患					14	感染症、消毒法				
7	総合					15	保健統計、まとめ				
8	まとめ										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	応用経穴学			担当教員名	小倉 千都世				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師・医療徒手リンパドレナージセラピストとして、中医学研究所、内科クリニック、漢方薬局、鍼灸治療院・開業での治療経験を積み、当該科目の教育を行う。										
年次	3学年	開講期		種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	経絡経穴学などに関する知識をより高度に学習する。また、これまでに学んだ知識の再確認、再習得、統合を行い、臨床家として深化した知識を習得させる。										
使用教材	「新版 経絡経穴概論」						評価方法	筆記			
授業内容											
1	骨度法、経絡、所属経脈					9	筋・骨・神経と取穴部位①上肢				
2	要穴、流注と要穴					10	筋・骨・神経と取穴部位②下肢				
3	手・足関節からの距離、胸腹部横並び、背腰部横並び					11	筋・骨・神経と取穴部位③ 演習問題				
4	奇経八脈					12	解剖学的部位と経穴 演習問題				
5	奇穴					13	現代研究 総合問題①				
6	経穴と取穴部位①上肢					14	総括 総合問題②				
7	経穴と取穴部位②下肢					15	総括 総合問題③				
8	経穴と取穴部位③その他 顔・頭・頸肩部中心										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	東洋医学総合論			担当教員名	松田 信晴				
実務経験等	鍼灸師として、訪問治療、本学附属臨床施設での治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	3学年	開講期		種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義と演習										
到達目標	東洋医学的な治療を行う場合の基礎となる東洋医学の歴史から、東洋医学による生理・病理、思想、診察方法、治療論などを復習し、知識の習熟度を深める。 また、東洋医学概論の知識をもとに、病態生理に基づいて適切な経穴を選択できる臨床能力を養う（あはきの歴史含む）。										
使用教材	「東洋医学概論・東洋医学臨床論（学校協会教科書）」医道の日本社						評価方法	筆記			
授業内容											
1	あはきの歴史					9	胸部・腹部の症候				
2	陰陽・五行論、気血津液					10	運動器疾患①				
3	六臓六腑（蔵象）					11	運動器疾患②				
4	病因、八綱病証、気血津液病証					12	運動器疾患③				
5	臓腑病証、経絡病証					13	高・低血圧、食欲不振、発熱など				
6	四診、刺法					14	不定愁訴				
7	補瀉法、難経六十九難					15	ケーススタディ、まとめ				
8	頭部・顔面部の症候										
特記事項											



学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	身体診察実技				担当教員名	星 いつ子			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として整形外科クリニック・内科クリニック・漢方薬局・往診治療の経験をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	3学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	講義と実技										
到達目標	徒手検査法、診察学、東洋医学臨床論で学んだ検査法や診察法を、実践を通して繰り返し習得させる。 疾患の鑑別、特定が出来るような検査の順序・実施方法、治療方法など、臨床に即応できる技術を身に付ける。										
使用教材							評価方法	実技			
授業内容											
1	導入、血圧測定					9	頸肩部の診察に必要な検査 1				
2	基本的な刺鍼と施灸の技術 1					10	頸肩部の診察に必要な検査 2				
3	基本的な刺鍼と施灸の技術 2					11	下肢の診察に必要な検査 1				
4	深部腱反射等（上肢）					12	下肢の診察に必要な検査 2				
5	深部腱反射等（下肢）					13	立位・坐位で行う検査				
6	その他の所見のとりかた					14	臥位で行う検査				
7	体幹部の診察に必要な検査 1					15	まとめ				
8	体幹部の診察に必要な検査 2										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	応用刺鍼概論				担当教員名	嶋 正明			
実務経験等	鍼灸マッサージ治療院を先代より引き継ぎ30年勤務する。また、国立障害者リハビリテーションセンターにて非常勤職員として25年勤務。(はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師) 長年の臨床経験より得られた臨床技術を東洋医学的見地よりわかりやすく伝える授業を行う。										
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	16時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技										
到達目標	特殊な鍼治療の概要、施術方法、効果などを理解させる。										
使用教材							評価方法	実技			
授業内容											
1	深谷灸法、吸角										
2	灸頭鍼										
3	温竹、美顔鍼、耳鍼										
4	知熱灸、皮内鍼										
5	枇杷の葉温灸、棒灸、押灸										
6	臍上温灸、隔物灸										
7	くるみ灸、鍼尖押圧法										
8	ホットパック										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎経絡学			担当教員名	森下 元				
実務経験等	1980年に鍼灸院を開業して40年になります。資格：はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師、介護支援専門員 鍼灸臨床の実際と神奈川県鍼灸師会、かながわ古典研究会会長として鍼灸医学古典の紹介も行っていきます。										
年次	3学年	開講期		種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	中国古典医学を基本とし、日本で独自に発展してきた経絡治療学の理論を理解させる。また、経絡治療学の考え方に基づいた鍼灸治療の基礎を理解させる。										
使用教材							評価方法	実技			
授業内容											
1	診察行為				9	モデル治療					
2	相互脉診				10	1対1相互治療					
3	望・聞 腹診				11	モデル治療					
4	問・切				12	相互治療					
5	脉状診				13	総合					
6	証の決定、氣の調整				14	まとめ					
7	相互脉診				15	総括					
8	補法⇒標治										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎中医学			担当教員名	金子 朝彦				
実務経験等	鍼灸院を開院して28年(はり師きゅう師) 長年の臨床経験から得た知識や思考方法などを自書、医道の日本中医臨床、鍼灸OOSAKAなどに発表してきました。それをダイジェスト化し学生に伝えていきます。										
年次	3学年	開講期		種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	1限目は教室で座学、2限目は実技室で実技を行う。										
到達目標	現在、中国で行われている中国伝統医学を基本として発展している中医学の理論を理解させる。また、中医学の考え方に基づいた鍼灸治療の基礎を理解させる。										
使用教材	問診のすすめ 東洋学術出版						評価方法		実技		
授業内容											
1	中医構造論				9	問診論について1					
2	穴性論について				10	代表的な穴性1					
3	現代中医学の歴史				11	問診論について2					
4	補瀉論について				12	代表的な穴性2					
5	痺証論について				13	望診について					
6	痺証の実技				14	代表的な穴性3					
7	婦人科論について				15	質疑応答					
8	婦人科実技										
特記事項											